

# 備えて守るう、かけがえのない命

災害はある日突然起こります。大切な人たちがあなた自身を守るために、防災・減災について今一度考えてみましょう。



防災ブレスレット作り  
(令和4年度 なんびっ子防災通学合宿)



テント型パーティションの利用  
(令和4年度 さくらっ子防災通学合宿)



かまどベンチでの調理体験  
(令和元年度 日野小学校防災学習)



起震車体験  
(令和元年度 西大路小学校避難訓練)



防災用品の展示  
(平成30年度 防災研修会)



避難所運営ゲーム  
(令和元年度 日野中学校防災学習)



防災講演会  
(令和元年度 防災カフェ)



給水訓練  
(令和2年度 日野町総合防災訓練)

近年、日本各地で地震や台風、集中豪雨などの災害が多発しています。町内でも平成29年の台風21号による土砂崩れなど、多数の被害がありました。

災害はいつ起こるかわかりませんので、日ごろから備えておくことが大切です。大切な命を守るため、次のページを参考に災害対策に取り組みましょう。



# 災害への備え

## チェックリスト

1. 家族や地域のひととの話し合い
  - 防災マップなどを使って避難経路を確認する
  - 離ればなれになったときの集合場所を決める
  - 安全確認の方法を決める
2. 家の中の安全対策
  - 大型の家具や家電製品は倒れないように固定する
  - 食器棚は扉が開かないように留め具をつける
  - 蛍光灯は両端を耐熱テープで留め、吊り下げ型の照明器具は、金具や鎖で数か所留める
  - 逃げ道を確認するため家具などの配置を工夫する
3. 非常用持ち出し袋や備蓄品の準備
  - 懐中電灯 □ 携帯ラジオ □ 携帯電話 □ 電池類
  - 貴重品（現金、通帳、印鑑、保険証、免許証など）
  - 常備薬・救急医療品・衛生用品（マスク、消毒薬、包帯、ばんそうこう、生理用品、オムツなど）
  - 工具など（ヘルメット、軍手、ナイフ、はさみ、ボール、ジャッキ、ロープなど）
  - 食料品 □ 水（1日あたり3ℓ/人）
  - 燃料（卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料など）
  - その他（毛布、寝袋、タオル、ラップ、食器類、カイロ、下着などの着替え、眼鏡、簡易トイレなど）

大規模災害が起こったとき、最低でも3日分（できれば1週間分）×家族人数分の備蓄が必要です。

普段から食品を多めに買い置きし、古いものから消費し新しく買い足す「ローリングストック」を心がけましょう。



## 「日野町防災アプリ」はご利用いただいていますか？

町が運用している「日野町防災アプリ」では、スマートフォンなどを通じて、より身近に防災情報を取得していただけます。町からのお知らせを即時に受信するとともに、防災マップの確認もできます。

防災情報だけでなく、「広報ひの」や「暮らしの便利帳」「ごみ収集カレンダー」などのさまざまなコンテンツを掲載しており、日常の情報取得にも便利にお使いいただけます。

まだご利用でない方はこの機会にぜひご利用ください。

こちらの二次元コードを読み込んで「日野町防災アプリ(ライフビジョン)」をインストールしてご利用ください。



Android用



iPhone用

## 「防災」と「減災」

昨今、「防災」と並んで「減災」という言葉もよく聞くようになりました。「防災」は災害を未然に防ぐことを目的としています。しかし、「減災」は災害が起きていることを前提として被害を最小限に抑えることを目的としており、似ているようで少し違っています。

災害を防ぐ「防災」が理想ではありますが、予期できない自然災害の被害を完全に防ぐことは困難です。被害を最小限に抑える「減災」に注力し、たとえ災害が起こったとしても生きのびることができる対応力を身につけましょう。

4ページの「まちのたから発見」では、防災士の方のお話を掲載しています。ぜひご覧ください。